



ニューデリー日本人学校 学校だより

<http://www.ndjs.org/>

# グルモール

JAPANESE SCHOOL, NEW DELHI 2021

第3号

令和3年7月9日

**夏季休業を終え、2学期制前期の後半がスタートしました。**

**引き続きオンライン授業へのご支援をよろしく願いたします。**

校長 足立 浩

6月29日(火)、前期の後半がスタートしました。2学期制のため夏休み明けの「始業式」はありませんでしたが、「学校朝会」という形で最初に私の方から「ロックダウンが続くコロナ禍ながら夏休みを元気に過ごせてよかったこと、引き続きオンライン授業が続くけれど、5月に比べてレベルアップをしてほしいこと、中学部は間もなくテストがあるので頑張ってもらいたいこと、酷暑の中、体調管理やコロナ感染に引き続き気を付けること」などの話をしました。7月1日現在で本校の児童生徒数は、インド在留35名、一時帰国42名、計77名となっています。

7月第2週より小学部の授業時間を一部(週あたりG1:3時間、G3~G6:2時間)増やしました。午後のオンライン授業が増えることで、基礎基本の定着につながる学習時間が確保され、主体的に学びに向かう学習習慣が身につくことを願っています。目や体の疲れが気になるところですが、各ご家庭におきましてはご理解とご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

この後、7月末までオンライン授業を実施することとしております。デリー準州内はコロナ感染が落ち着きを見せつつありますが、感染力の強い変異株による若年層への感染拡大も聞かれますので、引き続き感染対策には十分にご留意いただきますようお願いいたします。

さて、デリー準州内のコロナ感染の落ち着きにより、すぐに学校が再開できるかということ、一足飛びに進めることはできません。デリー準州内の感染状況を踏まえたデリー準州政府の発表により、学校再開「可」となることが一つの基準となります。

デリー準州政府の学校再開の発表がない場合は、昨年度の2月時と同様、学校理事会での協議の上、在インド日本国大使館のご助言ご支援を得て、「学校再開に係る要望書」を作成し、デリー準州政府への提出、特別に「許可」を得ることが二つめの基準となります。要望書については、各関係機関から情報を得て作成を進めていきますが、今のところいつから取り組みを開始できるか未定です。したがって、現時点では残念ながら8月以降の再開について見通しが立っておりません。

義務教育においては特に知・徳・体のバランスの取れた教育が大切であり、そのためには登校して教室での対面授業が望ましいことは言うまでもありません。また、感染者数が減少している今、学校を再開せずしていつまで待たなければならないのか、という苦悩もよく理解できます。しかしながら、児童生徒の健康と安全を最優先にすると、上記の二つの方法でしか学校を再開することができないということ、どうかご理解いただきたく思います。

また、仮に学校再開になったとしても、教室内のソーシャルディスタンスを確保するために、定員を設定し、児童生徒数の多いクラスにおいては転編入停止の措置を講じなければならないことも考えられます。その場合改めてご案内いたしますが、保護者の皆様並びに関係の皆様には引き続きご理解とお力添えをどうぞよろしくお願いいたします。